

- ① 新刊書の事前情報です。配本希望部数をご記入のうえ郵送またはFAXにてご連絡をお願い致します。  
 希望部数を優先して配本しておりますので、必ずお申し込み下さい。  
 ② 委託期間内返品可 配本後到着の注文書は注文扱いにて出荷させていただきますのでご了承下さい。  
 ③ ★印の図書は特にご注目下さい。平積み頂ければ幸いです。  
 ④ 小局ホームページより、「新刊のご案内」最新号がダウンロードできます。併せてご利用下さい。

帖合・番線	部数	法政大学出版局 <b>2018年2月19日配本</b> 定価3672円(本体3400円+税) <b>牧野 英二 編</b> <b>新・カント読本</b> ISBN978-4-588-15089-0 C1010 ★★ 超越論哲学の構築と永遠平和論を通じて、形而上学・倫理学・美学の近代200年を決定づけたカント。その思想の現代的意義を、前批判期から晩年までの各テーマに即し、最新の視点で気鋭の研究があぶり出す。西洋先進諸国以外の地域でのカント受容史や、正義論や生命倫理学への寄与にも光をあて、哲学史への鋭い解釈を提示するコラムが多面的な哲学者像を映し出す。略年譜付の最良の手引き。 【哲学・思想】 ☆関連書：好評既刊『ハイデガー読本』(3刷)、『サルトル読本』、『リクール読本』などととも展開ください!	A5判並製・420頁
-------	----	---	------------

帖合・番線	部数	法政大学出版局 <b>2018年2月中旬配本</b> 定価4860円(本体4500円+税) <b>ルネ・デカルト 著／山田、中澤、池田、武田、三浦、但馬 訳・解説／フレデリック・ド・ビュゾン 序</b> <b>デカルト 数学・自然学論集</b> ISBN978-4-588-15090-6 C3040 数学者・自然学者としてのデカルトに光を当て、本邦初訳の一連のテキストを集成、詳細解説する画期的論集。生命原理の探究をなす『医学論集』に続き、幾何学・代数学・力学分野での科学者デカルトの寄与を一望できる貴重な一冊。最新の原典校訂テキストをふまえ、読者を近代科学発祥の現場に立ち合わせる人文学の成果! 斯界の第一人者ビュゾン氏の序を付す。 【哲学・数学史・科学史】 ☆関連書：『デカルト 医学論集』も好評発売中!いよいよ〈自然科学者デカルト〉の全貌が日本語で読めます!	A5判上製・384頁
-------	----	--	------------

帖合・番線	部数	法政大学出版局 <b>2018年2月22日配本</b> 定価3672円(本体3400円+税) <b>ベン・ホワイ特 著／脇浜 義明 訳</b> <b>イスラエル内パレスチナ人 隔離・差別・民主主義</b> ISBN978-4-588-60351-8 C1331 ★ イスラエル内パレスチナ人とは、1948年のイスラエル建国時の民族浄化を免れたアラブ人とその子孫を指す。イスラエル国民であり国家人口の20%を占めながらも現在に至るまで監視、弾圧の対象とされてきた彼らの苦難はいかなるものであったか。西岸地区、ガザ地区のパレスチナ人と比べ国際社会の注目を集めることの少ない彼らの闘争に光をあて、イスラエルの構造的矛盾とパレスチナ問題の根幹に迫る。 【パレスチナ問題】 ☆関連書：バベ著『パレスチナの民族浄化』、池田有日子著『ユダヤ人問題からパレスチナ問題へ』(以上、小局刊)ほか。	四六判上製・280頁 《サビエンティア 51》
-------	----	---	----------------------------

帖合・番線	部数	法政大学出版局 <b>2018年2月23日配本</b> 定価5184円(本体4800円+税) <b>マルティン・ゼール 著／高畑祐人 訳</b> <b>幸福の形式に関する試論 倫理学研究</b> ISBN978-4-588-01075-0 C1310 ★ 幸福に関して、それが内容的に何であるかに議論が集中しがちだが、本書は幸福の「形式」という斬新な視点を打ち出し、道徳的配慮・社会的承認・政治の正当性に関する説明が依拠する善き生の形式について議論を展開する。道徳が幸福を犠牲にしているかもしれないという「幸福と道徳の緊張関係」の議論から、凡百の幸福論を超えて、幸福についての新たな思考をもたらす。 【哲学・倫理】 ☆関連書：ゼール著『自然美学』、加藤泰史編『尊厳概念のダイナミズム』(以上、小局刊)ほか。	四六判上製・424頁 《叢書・ユニベルシタス 1075》
-------	----	--	---------------------------------

帖合・番線	部数	法政大学出版局 <b>2018年3月8日配本</b> 定価2808円(本体2600円+税) <b>吉田 元 著</b> <b>醤油</b> ISBN978-4-588-21801-9 C0320 ★★ 日本の味に欠かせない醤油だが、商品として庶民に広まったのは江戸時代である。それまでは塩辛や味噌に似た自家製の汁を調味料としていた。醤油の普及により天ぷらや寿司、蒲焼きや蕎麦など食文化は一気に多彩になる。母国に数百本持ち帰った明治期の英国人、濃口・淡口といった産地の特徴、台湾や中国との製法の違い、代用醤油の登場、海外輸出時の苦労ほか、エピソードも盛りだくさん。 【日本史・食文化】 ☆関連書：ものと人間の文化史『酒』『豆』『枺』『桶・樽』『麴』『塩』ほか。	四六判上製・272頁 《ものと人間の文化史 180》
-------	----	--	-------------------------------

帖合・番線	部数	法政大学出版局 <b>2018年2月9日配本</b> 定価4104円(本体3800円+税) <b>N.ボルツ 著／山本 尤、大貫 敦子 訳</b> <b>批判理論の系譜学(新装版) 両大戦間の哲学的過激主義</b> ISBN978-4-588-14047-1 C1310 ヴェーバー、カール・シュミット、ハイデガー、ベンヤミン、アドルノ…… ワイマール時代の危険をはらんだ思考の絡み合い、およびその哲学的エッセンスを提示する。 【哲学・思想】 ☆関連書：N.ボルツ、W.v.レイイエン著『ベンヤミンの現在』(小局刊)ほか。	四六判上製・330頁 《叢書・ユニベルシタス 572》
-------	----	--	--------------------------------

ご担当者様 氏名： [ ] 担当ジャンル： [ ] TEL： [ ] E-mail： [ ]

\* 配本部数等で事前にご連絡する場合がございます。上覧にご担当者様氏名・TELをご記入下さい。  
 \* 宛名ラベルの内容に変更がございましたらお知らせ下さい。次回以降訂正致します。  
 \* 今後、新刊内容のデータ等をeメールにて配信させて頂く場合がございます。よろしければメールアドレスをご記入下さい。